事例No.	2552
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	手ノ子地区協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

手ノ子地区協議会

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

株式会社出羽庄内地域デザイン　山形県鶴岡市

概　要

庄内地域固有の優れた資源をさらに掘り下げ、ブランド構築することを目的とする。文化情報誌の“Cradle”を発行し、食、文化、観光等の魅力を伝えるとともに、地域おこし等の取組みを紹介している。また、産官学29団体で構成する「出羽庄内地域文化遺産による地域活性化実行委員会」を組織し、事務局として文化遺産を活用した地域活性化を目的とする事業を主導して実施した。



評価された点

・質の高い雑誌を継続的に発行し、庄内地域のみならず、全国規模の発信手段としている。
・地域文化の情報発信を、サポーターを増やしながら、確実に推進。着地型旅行商品の開発により、県外者へ庄内の魅力を伝える仕組みづくりを実現。
・産官学29団体の地域連携に基づく地域づくりの今後の可能性を評価。
・補助金をあてにせず、サポーターの協賛金や広告料をもとに自主的な発刊を続け、工夫を凝らした誌面企画を多く採用し、地域の魅力を地元内外に発信している。



手ノ子地区協議会　山形県飯豊町

概　要

年々人口や世帯数が減少し、停滞する地域社会の活性化を目指し里(地域)興し活動を推進。宇津峠への遊歩道の整備、雁沢川を「ホタルの里」への整備、町営スキー場の通年利用の推進と周辺環境整備、荒廃採草地の「桜の森」への整備、地域の家庭料理のレシピ収集、商品化の検討、住民の手による「地区土地利用計画」の策定等を行なっている。これらの取り組みを通じて「手ノ子町の再現」を図る。



評価された点

・いずれの活動も、地域の人の手による地域にとって、必然となる課題を自立・自治型のあり様を示している。
・複数の事業を連動して、地域活性化に貢献している。
・地域の料理のレシピが面白い。地域性を重視して町の発展につなげてほしい。
・遊歩道整備から家庭料理のレシピ収集など、地域の足元を見つめた地道な活動を、「地区土地利用計画」の策定まで結びつけ、実施できているのは評価できる。

